

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering Studies)		
ナンバリングコード	R40403	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 総合レベル
単位数	10	配当学年 / 開講期	1年 / 通年
必修・選択区分	必修		
授業コード	M522002	クラス名	西村研究室
担当教員名	西村 謙司		
履修上の注意、履修条件	修士論文をまとめるために必要な授業です。しっかり履修してください。		
教科書	適宜、資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	日本建築学会計画系論文集、日本建築学会九州支部 研究報告、日本建築学会学術講演梗概集		
関連科目	建築設計特論A、B 環境情報学特別演習		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	大学院における研究活動の集大成をなす授業です。進行しつつある研究活動を踏まえ、修士論文を作成するために必要な内容の授業となります。 文献調査、フィールドワーク調査を踏まえ、それらを体系的にまとめるとともに、論文として、再構築していくプロセスの指導を行います。すべての調査が結果に結びつくわけではなく、試行錯誤の繰り返しによって論文がまとまってくるという経験を身をもって実践することが重要だと考えています。建築学の中でも特に建築歴史・意匠分野という専門領域に焦点を絞り、高度な知識と技術に関する学修を行うとともに、大学院を修了するための要件としての修士論文の作成に必要な知識と技術を深く学ぶことを目的とします。
授業の概要	院生が行う調査・実習・文献検索・グループ討議等に参画し、適切な助言・指導を行います。さらに、院生が行う文献講読・研究テーマの設定方法・アイデア・課題解決・分析・研究結果・レポート作成・口頭発表などに際して、特別研究の価値を高めるための指導を行います。 内容が多岐にわたると同時に、研究の進捗状況に合わせて上記項目を進めていくため、個々の院生の研究内容によって授業内容や方針が異なります。個々の院生の研究進捗状況に応じて適宜、状況に合わせて授業を行います。
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」 (2)複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3)アクティブ・ラーニング 調査学習 他
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	主体的に研究を遂行する。			30点
【知識・理解】	学会で研究発表を行い、質疑応答に適切に応えることができる。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	聴講者に対して、適切な資料準備、発表ができる。研究室のグループワークをマネジメントできる。		20点	
【思考・判断・創造】	実現が困難なことに対して粘り強く対応できる。研究活動全般に対して、異なる視点から判断、微調整することができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を特別優れて満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を優れて満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を良く満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

○その他
フィードバックは、適宜行います。

